

平成29年度第3回向日市地域公共交通会議

会 議 次 第

日 時 平成30年2月7日（水）
午前10時から正午まで
場 所 向日市福祉会館3階大会議室

- 1 コミュニティバス運行に関するアンケート実施結果について
- 2 パブリック・コメント（案）について
- 3 その他

【会議資料】

資料1・・・コミュニティバス運行に関するアンケート
実施結果について

資料2 - ①・・・パブリック・コメントの実施概要

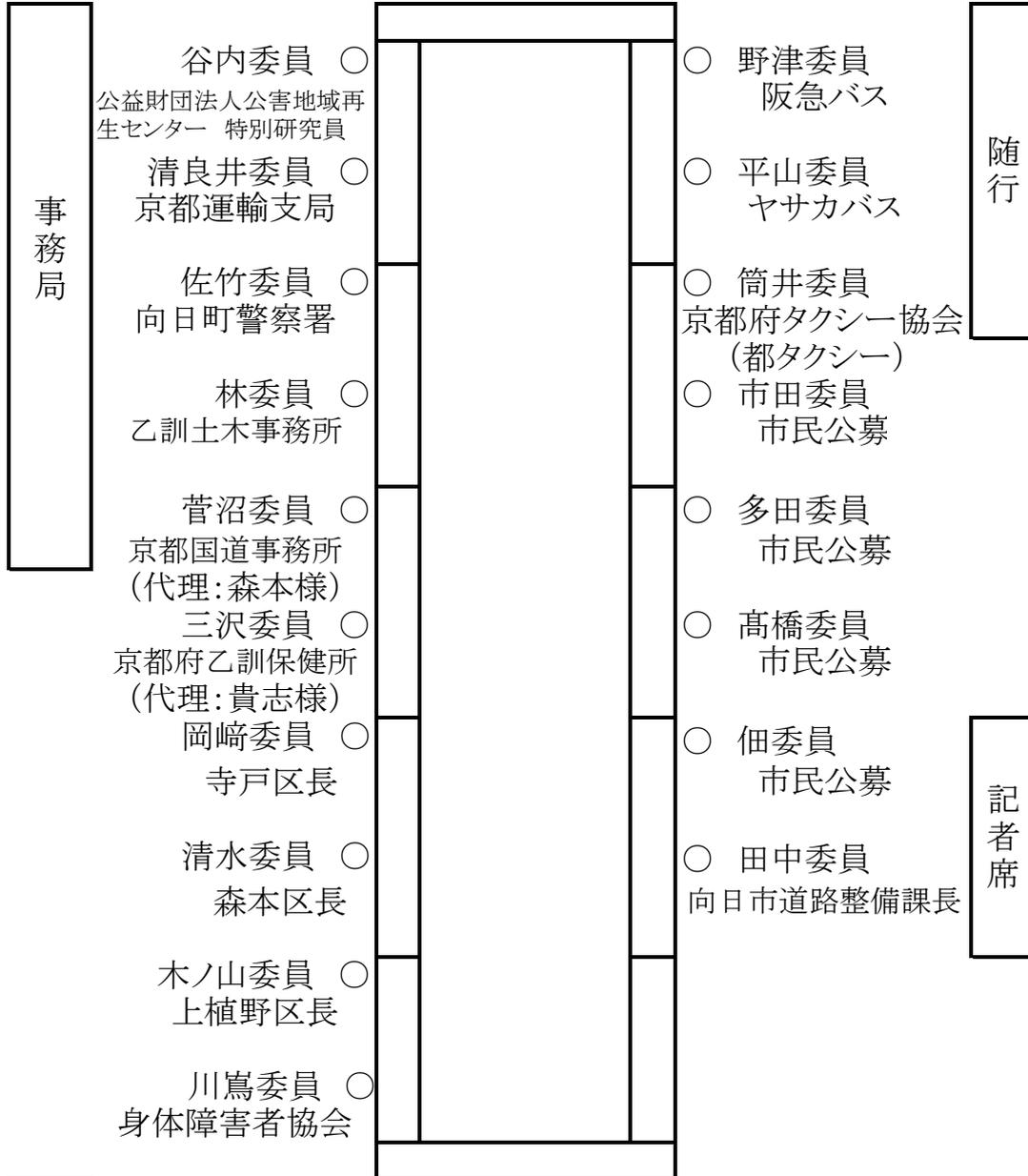
資料2 - ②・・・パブリック・コメント（案）

	区分	氏名	所属等	
1	市長又はその指名する者	安田 守	市長	
2	一般乗合旅客自動車運送事業者その他の一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体	野津 俊明	阪急バス株式会社 自動車事業部長	
3		平山 敬浩	株式会社ヤサカバス 上鳥羽営業センター所長	
4		阪本 和宏	京阪京都交通株式会社 代表取締役社長	
5		筒井 基好	京都府タクシー協会 専務理事 (都タクシー株式会社 代表取締役社長)	
6		市民又は利用者の代表	市田 花子	市民公募委員
7	高橋 裕		市民公募委員	
8	多田 久美子		市民公募委員	
9	佃 れい子		市民公募委員	
10	鈴木 堂司		市民公募委員	
11	岡崎 雄至		寺戸町連合自治会長	
12	清水 陽一		森本区長	
13	木ノ山 高久		上植野町自治連合会長	
14	川本 忠夫		向日市老人クラブ連合会会長	
15	川罵 美千代		向日市身体障害者協会 身体障害者相談員	
16	国土交通省近畿運輸局京都運輸支局長又はその指名する者	清良井 利之	近畿運輸局京都運輸支局首席運輸企画専門官	
17	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体	三原 靖司	阪急バス労働組合副執行委員長	
18	その他交通会議が必要と認める者	学識経験者	宇野 伸宏	京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 教授
19			谷内 久美子	公益財団法人公害地域再生センター 特別研究員
20		国	菅沼 幸江	京都国道事務所 計画課長
21		府	林 孝雄	京都府乙訓土木事務所 技術次長
22			三沢 あき子	乙訓保健所 所長
23		府警	佐竹 久喜	京都府向日町警察署 交通課長
24		市	田中 英司	向日市建設産業部 道路整備課長

平成29年度第3回向日市地域公共交通会議 座席表

宇野議長
京大大学院教授

会長(市長)



受付(入口前)

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
傍聴者

平成 30 年 2 月 7 日

コミュニティバス運行に関するアンケート実施結果について

①目的

本アンケートは、高低差が大きく長い坂道のある物集女街道から物集女西浄水場までの周辺地域をバス運行ルート(素案)として検討するなかで、当該ルートには道路幅の狭い箇所があるのではないかとこの意見があったことから、コミュニティバスが円滑に走行するため、運行ルート(素案)周辺の市民の皆様にはアンケートを実施したものの。

②対象

第2向陽小学校付近（3頁）

③方法

- ・各ご家庭にアンケート（4～6頁）のポスティングを行い、郵送にて回収。732軒に配布。
- ・アンケートは1軒あたりに1枚ずつ配布。

④実施期間

- ・配布日：平成29年12月28日及び平成30年1月5日
- ・投函期日：平成30年1月19日

⑤回収状況

- ・配布数：732軒
- ・回答数：269件
- ・回答率：36.7%

⑥集計結果

- ・7～10頁

～コミュニティバス運行に関するアンケート～

平成30年1月
向 日 市

沿線にお住いの皆様へ

平素は、市政についてご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

向日市におきましては、今まで以上に、市民の皆様が安全で便利に生活していただけるよう、新たな公共交通手段としてコミュニティバスの運行を予定しており、コミュニティバスによって公共交通のネットワーク連携を強化するとともに、ご高齢の方など交通弱者の皆様の日常生活の交通手段を確保することとしています。

このため、向日町警察署やバス・タクシー会社などの交通関係者、学識経験者、市民の方などで「地域公共交通会議」を構成し、議論を進めていただき、高低差が大きく長い坂道のある物集女街道から物集女西浄水場までの周辺地域がバス運行ルート(素案)として検討されているところです。

また、当該ルートには道路幅の少し狭い箇所があるのではないかとのご意見があり、コミュニティバスが円滑に走行するため、運行ルート(素案)沿線にお住いの皆様にアンケート調査を実施するものです。

つきましては、今後の向日市の更なる発展のため、お手数をおかけしますが、このアンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご記入にあたってのお願い

- 1 アンケート調査票は、世帯を代表する方がご記入ください。
- 2 記入後は、『平成30年1月19日(金)まで』に、同封の返信封筒にご記入いただいた調査票を入れてポストに投函してください。(切手は不要です)

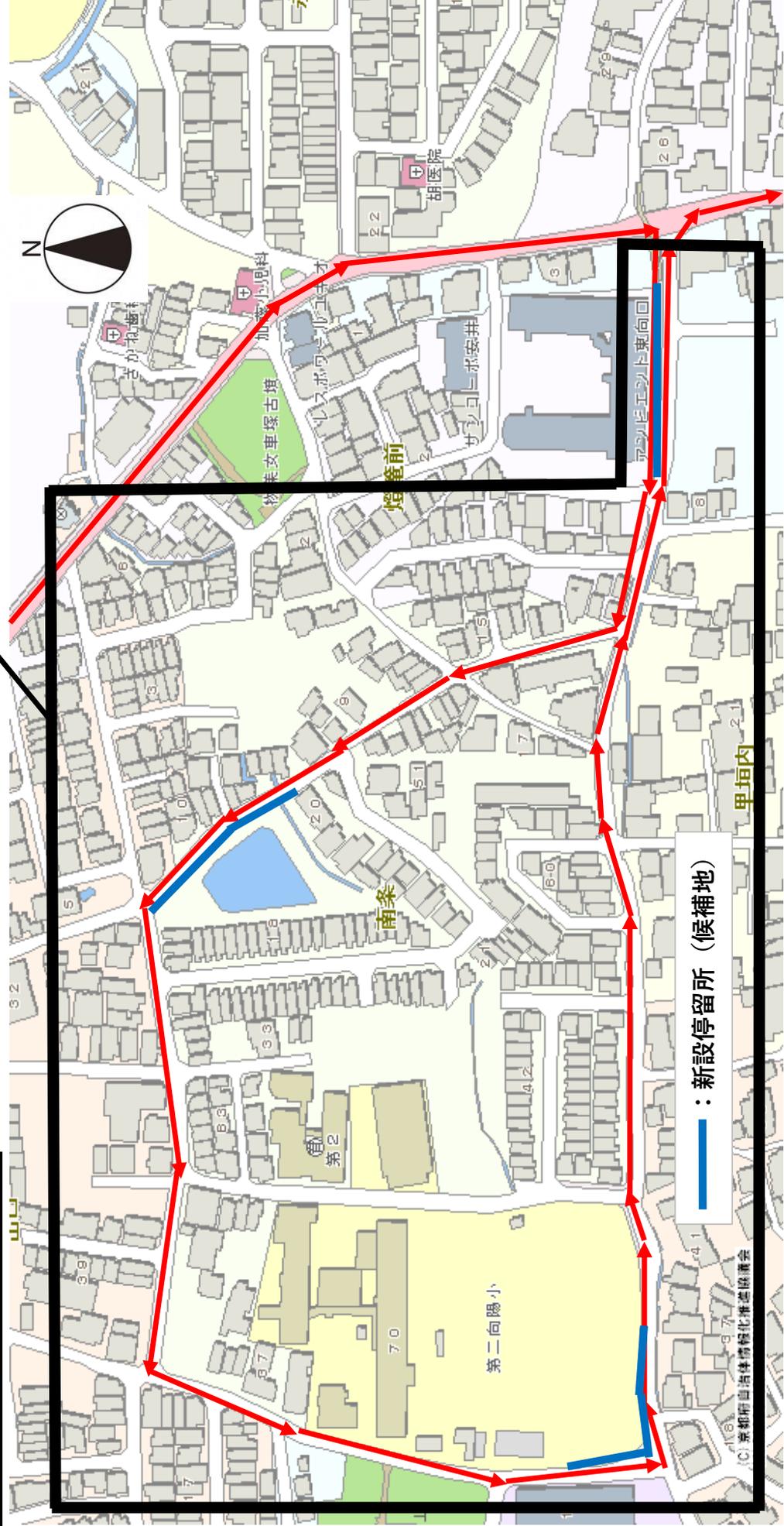
《お問い合わせ先》

向日市市民生活部防災安全課

電話番号：075-931-1111（平日 8:30～正午、13:00～17:15）

【ルート(素案)拡大図】 →

アンケート対象地域 ※ルート(素案)沿道にお住まいの皆様を対象としています。



コミュニティバス運行に関するアンケート

※あてはまるものに○をつけるか、() 内に必要な記入をお願いします。

質問1 あなたご自身(アンケートを記入して下さる方)のことについておたずねします

①性別(1つに○) (男性 ・ 女性)

②年齢(1つに○)

(10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代
50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代以上)

③ご家庭の車両保有数

(自家用車 () 台、バイク・原付 () 台、自転車 () 台)

質問2 同封の運行ルート(素案)のように、コミュニティバスが運行された場合、

どのくらいの頻度で利用しますか。(いずれかに○)

(たまに利用する ・ 週に1、2回程度 ・ 週に3~5回程度)

質問3 コミュニティバスであなたが行きたい場所はどこですか。

(3つまで選んで○)

1. 市役所 2. 鉄道駅 3. 病院 4. スーパー 5. 市民体育館

6. 市民プール 7. 公民館・コミセン 8. 郵便局 9. 銀行

10. その他(_____)

裏面に続く

質問4 コミュニティバスの円滑な運行のため、どのようなことに配慮すべきと思われますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 交通マナー徹底について町内会回覧で協力の呼びかけ
2. 児童・生徒、保護者への交通ルールの周知
3. 円滑な運行についての協力依頼看板
4. 路面表示（「速度落とせ」など）
5. バス接近時通知電光掲示板
6. カーブミラー増設
7. その他ございましたらご記入願います。

記入欄

質問5 コミュニティバスの運行についてご意見があればご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

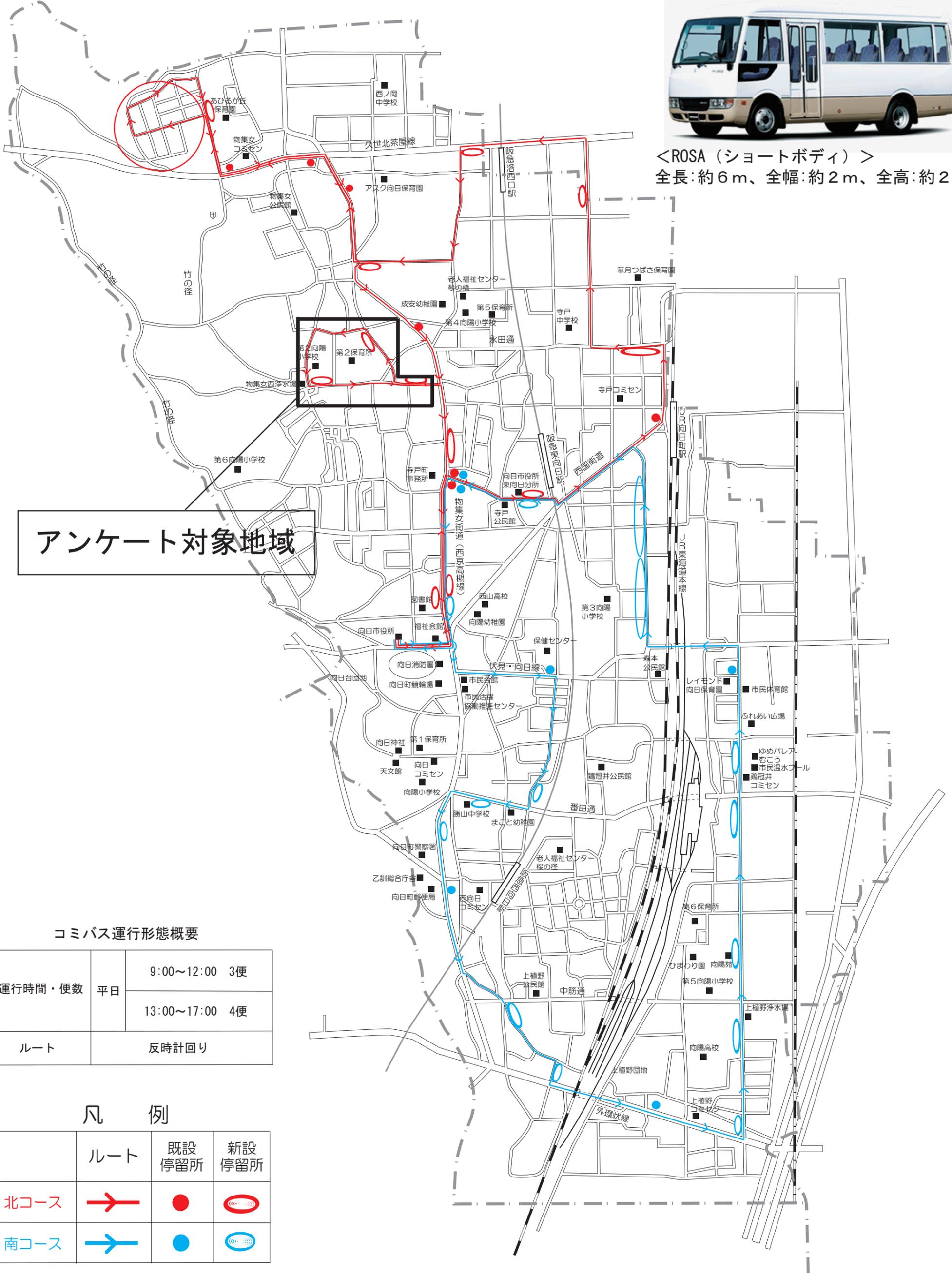
ご記入いただいたアンケート用紙は同封の返信用封筒に入れて、

平成30年1月19日（金）までにご返送ください。

コミュニティバスルート(素案)



<ROSA (ショートボディ)>
全長:約6m、全幅:約2m、全高:約2m



アンケート対象地域

コミバス運行形態概要

運行時間・便数	平日	9:00~12:00 3便
		13:00~17:00 4便
ルート	反時計回り	

凡 例

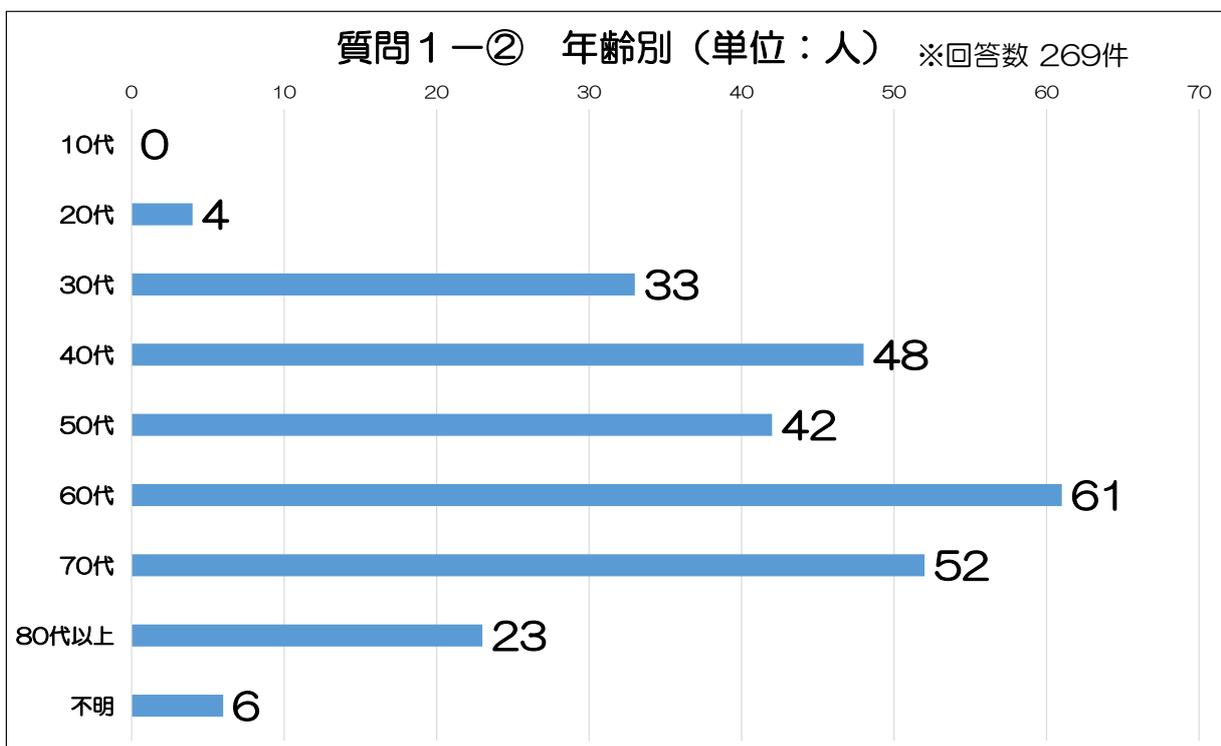
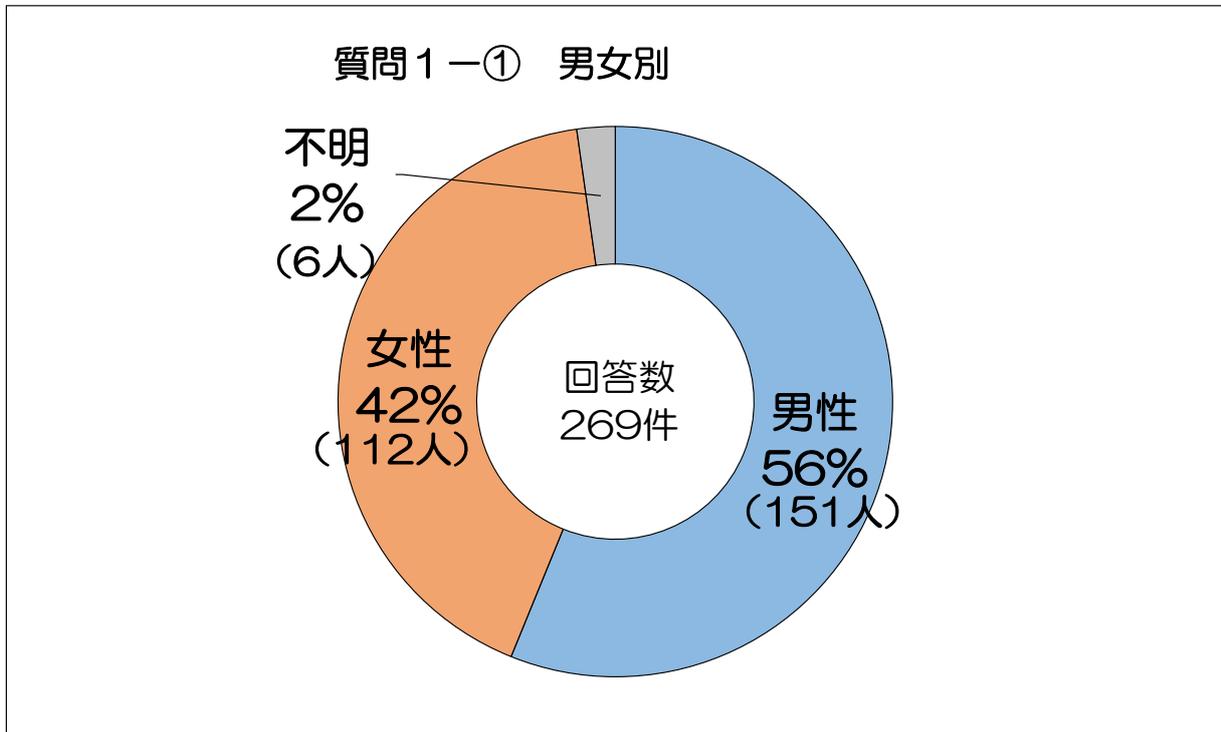
	ルート	既設 停留所	新設 停留所
北コース			
南コース			

コミュニティバス運行に関するアンケート 集計結果

<質問1-①、②>

回答者の性別・年齢

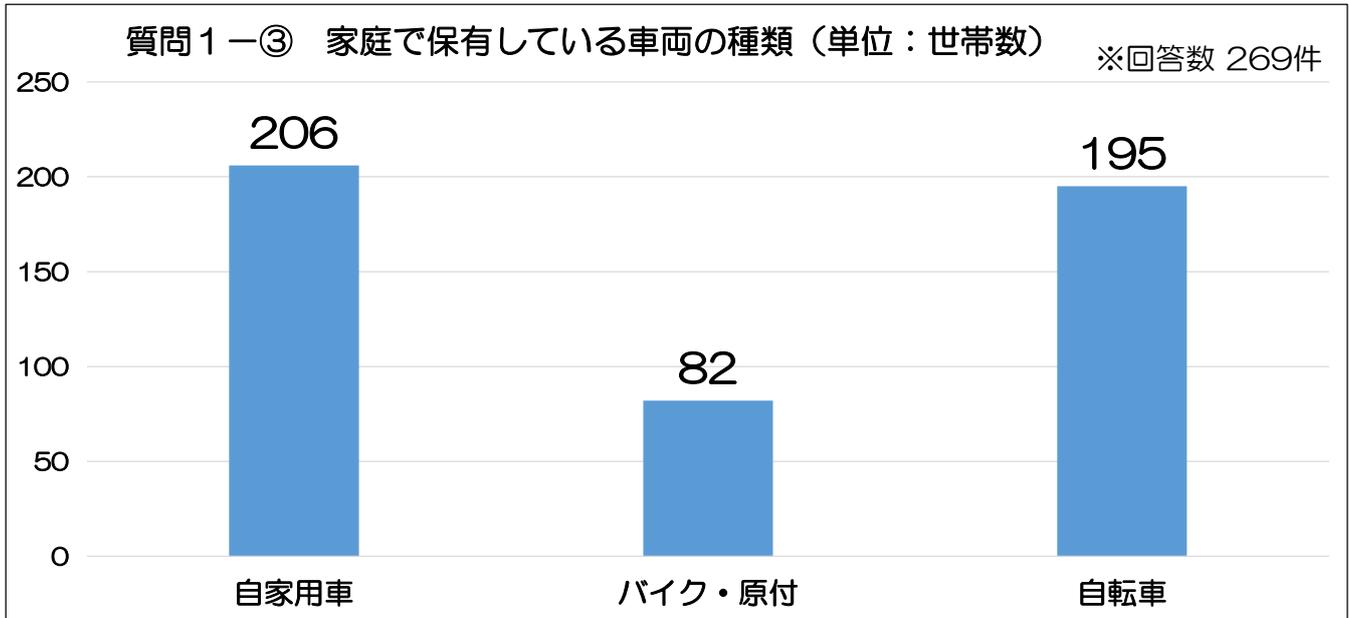
- 回答者の性別をみると、やや男性が多い構成となっている。
- 年齢構成については、60歳代の回答者が最も多く、また、回答者の約50%が60歳以上となっている。



<質問1-③>

保有している車両の種類

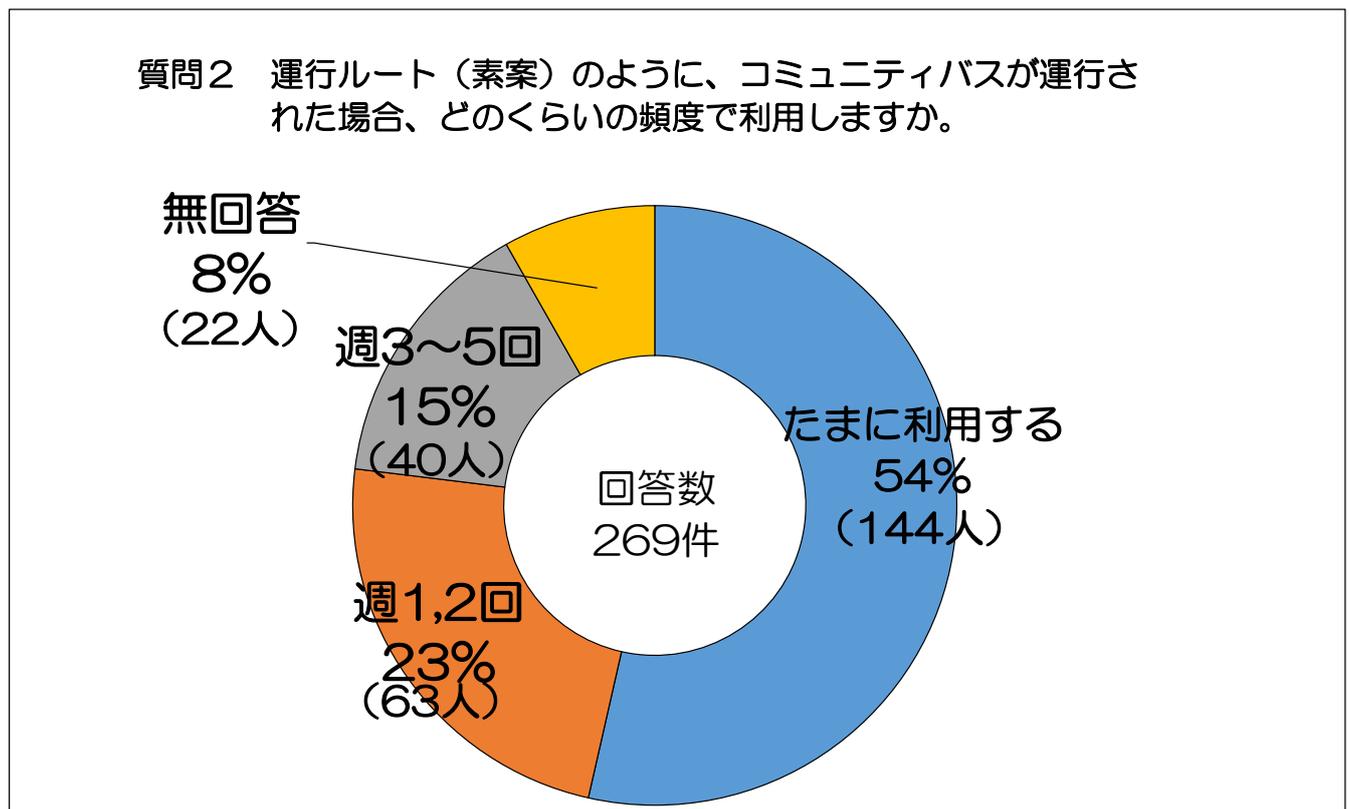
- 家庭で保有している車両の種類を見ると、回答者の約76%が自家用車を保有している。



<質問2>

利用頻度

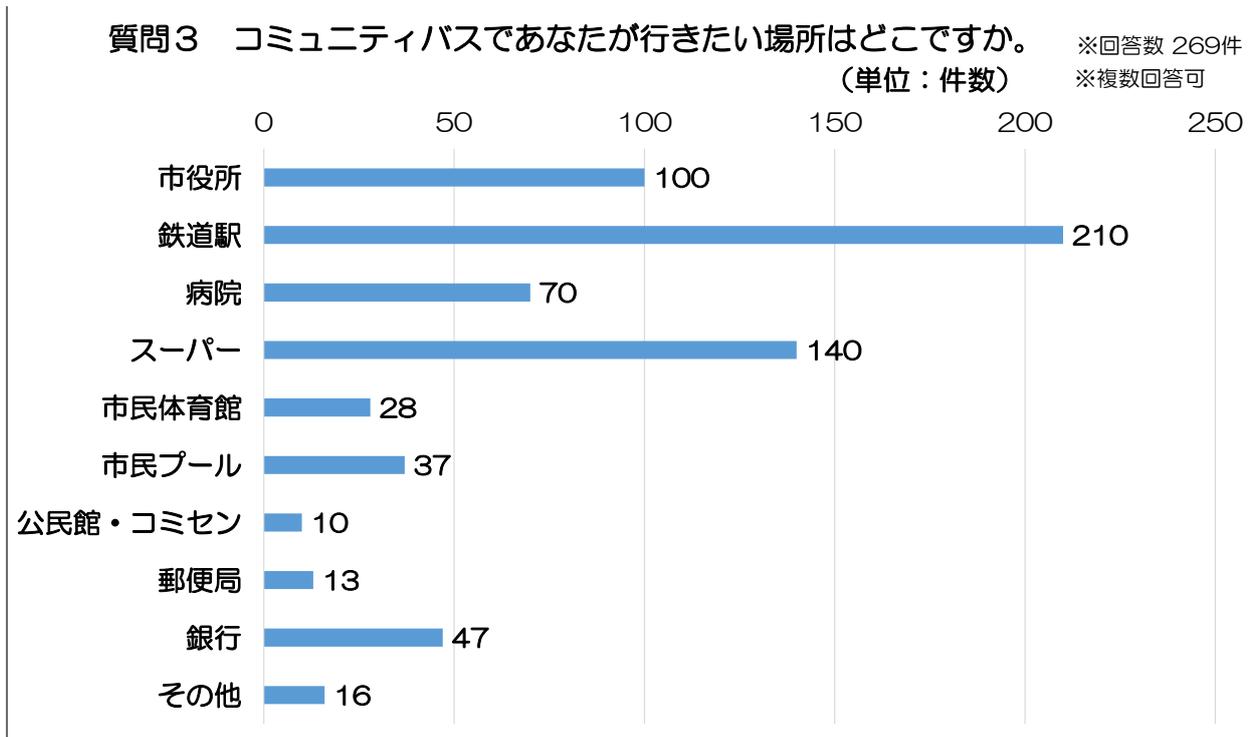
- 回答者の半数以上の約54%が「たまに利用する」と回答している。
- 次いで、「週1, 2回」が約23%、「週3~5回」が約15%となっている。



<質問3>

コミュニティバスを利用して行きたい場所

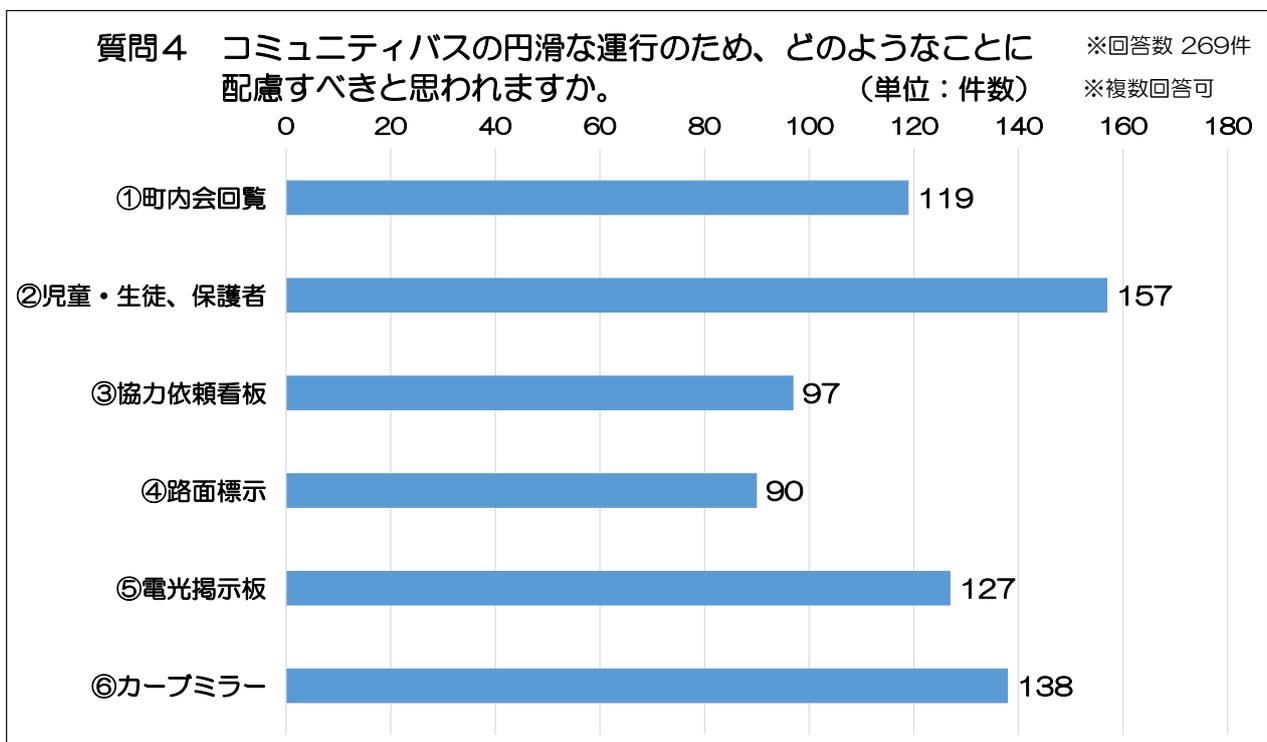
- ・鉄道駅が210件と最も多く、次いで、スーパーが140件、市役所が100件等となっている。



<質問4>

バスの円滑な運行にあたり配慮すべきこと

- ・「児童・生徒、保護者への交通ルールの周知」が157件で最も多く、次いで、カーブミラーの増設が138件、バス接近時通知電光掲示板の設置が127件等となっている。



<質問5> コミュニティバスの運行についてご意見があればご記入ください。

<主な意見>

(早期に) 実現してほしい	42件
運行ルートが利用しにくい (逆回りの運行希望、運行時間が長いなど)	31件
便数、時間帯について (便数増加希望、通勤・通学時間帯の運行希望など)	23件
運行反対、利用しないと思う	17件

<その他の意見>

- 南条のため池周辺の違法駐車取締りを強化してほしい
- 物集女街道に接する道路に信号機の設置を望む
- 車椅子でも乗降できるようにしてほしい など

パブリック・コメントの実施概要（案）

1 実施期間

平成 30 年 3 月 1 日から 3 月 30 日まで

2 実施の周知

3 月号広報及びホームページでパブリック・コメントの実施をお知らせ

3 閲覧場所

市役所（情報公開コーナー、防災安全課）、公民館、コミュニティセンター

4 意見を提出することができる方

- ・向日市に住所を有する方
- ・向日市に事務所又は事業所を有する事業者
- ・向日市に存する事務所又は事業所に勤務する方
- ・向日市に存する学校に在学する方
- ・向日市に対して納税義務を有する方
- ・コミュニティバス運行計画の策定に関し利害関係を有する方

5 提出方法

書面の持参、郵便、ファクシミリ、電子メール

6 提出された意見の取扱い

「向日市パブリック・コメントに関する要綱」では

- ①提出された意見の概要
 - ②提出された意見に対する実施機関の考え方
 - ③計画等の案を修正した場合における当該修正内容及びその理由についてを公表することとなっている。
- ①、②を事務局で作成し、③の修正が必要な内容について会議に諮る。

パブリック・コメント（案）

向日市コミュニティバス運行事業計画案について

市民の皆様からご意見を募集します。

1 はじめに

市では、市民の皆さまが、より一層安全で便利に生活していただけるよう、新たな公共交通手段として平成 30 年中にコミュニティバスの運行を予定しております。

このコミュニティバスによって公共交通のネットワーク連携を強化するとともに、市内の丘陵地（高低差）を踏まえ、ご高齢の方など交通弱者の皆さまの日常生活における交通手段を確保することとしています。この運行案に皆さまの声を反映させるため、ご意見を募集します。

2 運行ルートの考え方

- ・既存のバスサービス水準の低い地域を通る
- ・既存のバス路線との重複を極力避ける
- ・公共施設へのアクセスを考慮する
- ・バス停は向日市域内に限る
- ・幅員や曲がり角における安全性を考慮する
- ・50分程度で走行できるルートとし、1時間ごとに1便の運行を可能とすることを目指す
- ・北回りルートと南回りルートの走行時間のバランスを調整し、市役所での乗換を可能とする

3 運行形態概要

項目	概要		考え方
運賃	200円		・市内路線バスで料金が150～200円の区間があり、コミバス運行によるバス・タクシー事業の経営圧迫を防ぐため
運行時間・便数	平日	9:00-12:00 3便 13:00-17:00 4便	日常生活において利用頻度の高い市役所や病院、金融機関などの営業を考慮して平日昼間の運行とする
ルート	反時計回り		・右折が危険な箇所を避けるため（例：志水西向日停車場線森本上植野幹線交差点） ・バス停設置にかかる協議時間を短縮し、早期に運行開始するため
乗車定員	25名程度（老人福祉センターバスと同等の大きさ）		車いすのまま乗降を可能とするため（リフト機能）

4 運行の見直しについて

ルートやバス停の位置については、運行開始後、利用状況に応じて見直しをおこないます。

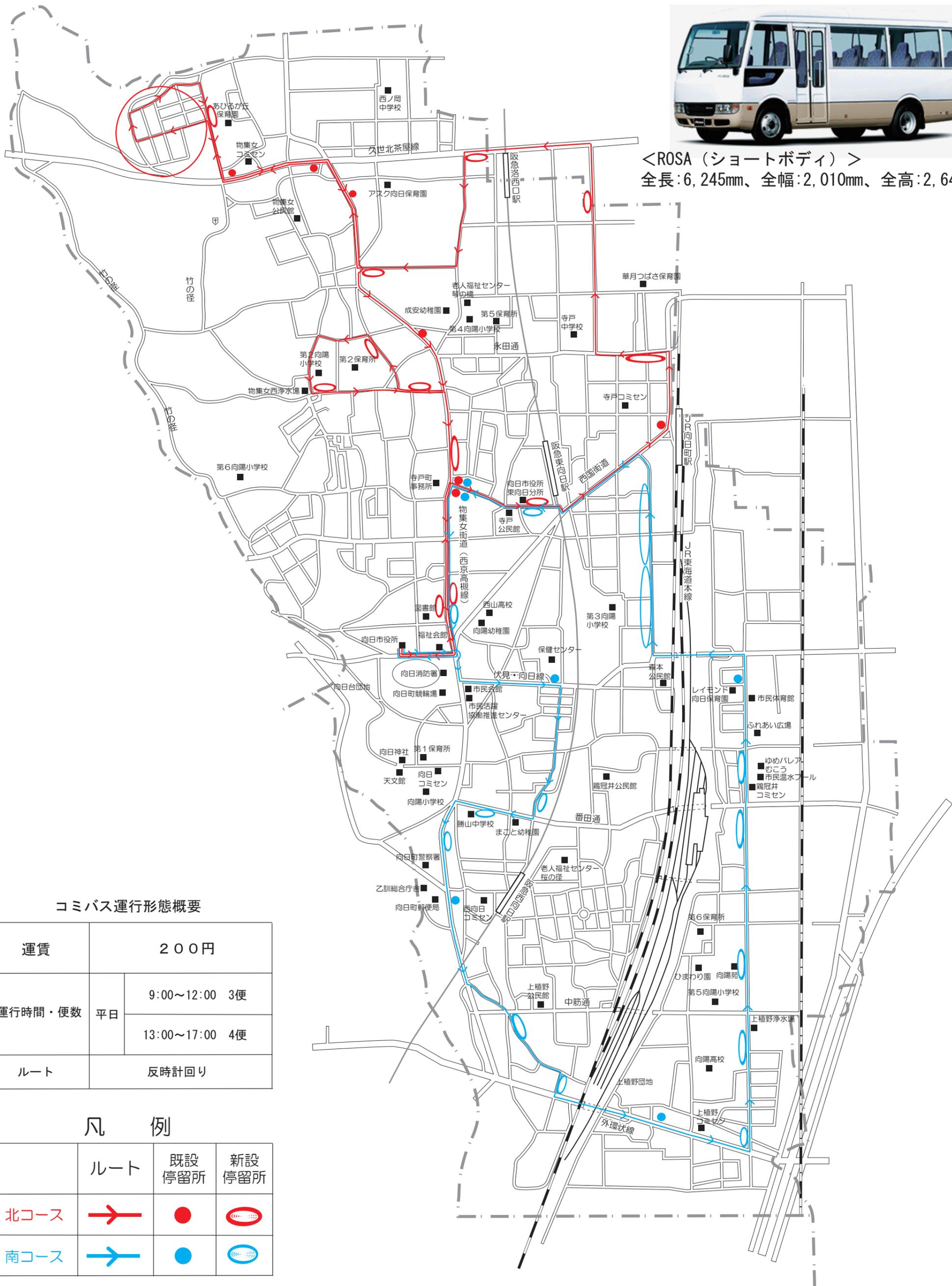
5 バス停の設置について

ルート沿線にお住まいの方（事業所含む）で、ご自宅・事業所・店舗前へのバス停設置にご協力いただける場合は、その旨お知らせください。

パブリックコメント用ルート案



<ROSA (ショートボディ)>
全長:6,245mm、全幅:2,010mm、全高:2,645mm



コミバス運行形態概要

運賃	200円	
運行時間・便数	平日	9:00~12:00 3便
		13:00~17:00 4便
ルート	反時計回り	

凡 例

	ルート	既設 停留所	新設 停留所
北コース			
南コース			

向日市市民生活部防災安全課 あて

向日市コミュニティバス運行事業計画（案）
ご意見記入用紙

「向日市コミュニティバス運行事業計画（案）」に対する皆様のご意見を自由にお書きください。
なお、電話でのご意見等には応じかねますので、あらかじめご了承ください。

ご意見	
	について

※ ご意見等の内容を確認させていただく場合があります。公表はいたしません。

住所又は所在地	(向日市外にお住いの方は、通勤・通学先をご記入ください)		
氏名又は名称		電話番号	

お問合せ・ご意見送付先
向日市市民生活部防災安全課 住 所：〒617-8665 向日市寺戸町中野20 電 話：075-931-1111（内線249）FAX：075-922-6587 Eメール：bousai@city.muko.lg.jp